



広報

Dazaifu City PR Magazine

だざいふ

世界に冠たる 令和の都太宰府へ！



史跡地の魅力を高めるフードトラック社会実証実験（大宰府政庁跡）

2022
(令和4年)

12

No.1015

令和発祥の都太宰府
「梅」プロジェクト
製品



関連特集
P6～9

これまで「令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト」や「史跡地の魅力を高めるフードトラック社会実証実験」など、史跡地の先進的多用途活用を展開してきました。

こうした展開をさらに進め、史跡の活用と維持保存の好循環を図る「太宰府市文化財保存活用地域計画」を実行に移し、世界に冠たる令和の都太宰府を目指します。

※掲載記事は編集作業の都合上11月15日時点までの情報に基づきます。配布時とのずれなどございましたらご了承ください。

くす
の記



早いもので令和4年も残すところあと一カ月となりました。朝晩もめっきり寒くなってきましたのでくれぐれもご自愛下さい。

コロナ禍も今なお先行きは不透明で、インフルエンザとのダブル流行も予測されます。ワクチン接種など対策をお願い致します。

一方で、様々なイベントも復活し、公務出張も増えて参りました。やはり直接の触れ合いの中で見えてくるものも多くあります。

本号特集の文化財保存活用地域計画で史跡の先進的多用途活用をうたっていますが、世界遺産の魅力から多くの学びを得ました。

元号令和発祥の地大宰府政庁跡始め本市の史跡を最大限活用して経済税収効果を高め、市民の皆様への還元を心掛けて参ります。

ふるさと納税は年末が大きい時で、今や市税収の一割強を占める重要財源です。市外のご親戚やご友人等にぜひご宣伝下さい。

太宰府市長

楠田 大蔵